



「補習授業校を支えている人々」 その1

先週、今週と続けて借用校の校長を表敬訪問しました。どちらの校長先生も JWSNY (The Japanese Weekend School of New York) が校舎を使用することについてとても理解があると感じました。教室の使い方に気をつけ、借用校との関係を大事にしてきた成果だと感じました。私たちに便宜を図ってくれている人々がいることを直に感じました。

LI 校に出向いた 21 日はコーラスの発表会の始まった日でした。5 年生の発表の最中でした。35 人ほどの子ども達が 30 分ほど次々に歌とパフォーマンスを繰り広げてくれました。一人一人が大きな声で歌い、練習の積み重ねが感じられました。そういえば、3 日に行われた補習校の入学式の時にもすでにステージの看板「On Broadway」が掛かっていましたから、かなり前からこの日のために練習してきたことが分かります。

この日は、日頃校舎を使わせていただいていることへの感謝の気持ちをお伝えし、これからも長く使わせていただけるようお願いしてきました。

現地校の校舎を使用する陰には、管轄する教育委員会との契約に基づき、一定の借用料を支払っているのはもちろんですが、実際にそこに関わっているのは校長先生であり、教室の管理者である借用校の担任、Custodian であり、Security の皆さんです。特に Custodian の皆さんは、土曜日の朝には使用する教室の鍵を開け、必要な本棚や掲示板などを所定の場所に並べる作業を朝早くからしてくれています。もちろん終わった後の片付けもお願いしています。そのことに感謝しながら校舎を使っていくことが必要です。各学校に図書が並んでいるのを当たり前に感じますが、陰でこうして支えてくれている人々がいることを忘れないでいきたいと思います。

これからもいろいろな機会を捉えて、「補習授業校を支えている人々」を見つけていきたいと思います。



コーラス発表会 左は Dr.Dina Koski 校長です

校章デザイン募集

22 日に校長の手元に記念すべき応募作品第一号が届きました。LI 校、初等部 2 年生の生徒からでした。WTA 校でも応募作品が担当の陶山先生のところへ届いているようです。ありがとう！

やはり、校章を中心になって考えるのは、今実際に本校に在籍している子ども達や保護者等、現在の関係者の方々だと思います。

募集期間は 5 月 15 日までです。

皆さんの「補習校大好き！」という気持ちを校章という形に表してみてください。

たくさんの応募を待っています！！